

# サイレン

広報

**編集**  
**釧路北部消防事務組合**  
**広報委員会**  
**26. 4. 1 発行**

消防本部 (015)482-3276  
 弟子屈消防署 (015)482-2073  
 標茶消防署 (015)485-2021  
 鶴居消防署 (0154)64-2344  
 川湯支署 (015)483-2216

## 組合創設40周年記念式典 挙行

釧路北部消防事務組合は、昭和48年4月、弟子屈町、標茶町の2町で創設され、平成17年10月に鶴居村が加入し、昨年で40周年を迎えました。

組合では、これを記念して5月12日(日)弟子屈町「摩周観光文化センター」で消防関係者約250名が出席し、記念式典を挙行了しました。

式典では先人に黙祷をささげた後、日野浦正志前副組合長ら15名に対し、感謝状を授与しました。

挨拶に先だった徳永哲雄組合長は「消防に課せられた使命や責任を認識し、地域住民の安全・安心に応える為」より一層努力することを誓いました。



挨拶をする徳永組合長



表彰を受ける日野浦前副組合長



観閲式の様子



平成25年度 全国統一防火標語 **消すまでは 心の警報 ONのまま**

## 平成26年 消防出初式

本年も、新春恒例となっている消防出初式が1月4日弟子屈、5日標茶・鶴居、6日川湯において行われました。観閲式、分列行進が行われ、その後に開催された式典では、長年消防に尽力した消防団員が表彰されました。

また、各署では催しが行われており、弟子屈署ではラッパ隊による演奏、川湯支署では伝統のはしご乗り、標茶署ではまとい振りとはしご乗りが披露され、沿道の観客より多くの歓声を受けました。

1年間の無火災の実現と、町村民の安心・安全を願い、消防職団員一同団結を新たに固め、職務の遂行を誓いました。



標茶：まとい振り



弟子屈：ラッパ隊



川湯：はしご乗り

## 第58回釧路管内消防団員技能競技大会



消防ポンプ自動車の部  
準優勝 鶴居消防団第1分団



小型ポンプの部  
優勝 鶴居消防団第3分団



消防ポンプ自動車の部  
第3位 弟子屈消防団



小型ポンプの部  
第3位 川湯消防団B

9月14日(土)「第58回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会」が釧路市消防訓練場で開催され、管内9消防団から、「小型ポンプの部」に13チーム、「消防ポンプ自動車の部」に15チームが出場し、訓練の成果を競い合いました。

小型ポンプの部では鶴居消防団が優勝、川湯消防団が3位に入賞、消防ポンプ自動車の部では鶴居消防団が準優勝、弟子屈消防団が3位に入賞するなど、釧路北部の多くのチームが上位に入賞する活躍を見せました。

## 新採用職員紹介

平成25年度に採用された職員を紹介します。



氏名 齊藤 一也  
(24歳)  
出身地 標茶町  
勤務先 標茶消防署



氏名 川村 翔  
(21歳)  
出身地 標茶町  
勤務先 消防本部



氏名 池田 大貴  
(19歳)  
出身地 釧路市  
勤務先 標茶消防署



氏名 東 康太郎  
(19歳)  
出身地 白糠町  
勤務先 鶴居消防署



氏名 星川 悠斗  
(22歳・救急救命士)  
出身地 弟子屈町  
勤務先 弟子屈消防署

各消防署・支署における救急救命士資格取得者数

弟子屈	川湯	標茶	鶴居	合計
10	7	10	8	35

平成25年度  
消防アラカルト

# 平成25年中の救急出動件数は981件!ドクターヘリ搬送53件

## ▶救急出動件数及び搬送人員の推移

平成25年中

救急出動件数	981件 (弟子屈町547件 標茶町300件 鶴居村134件)	Drヘリ出動	53件 (弟子屈町24件 標茶町16件 鶴居村13件)
搬送人員	948人 (弟子屈町534人 標茶町285人 鶴居村129人)	Drヘリ搬送	48人 (弟子屈町23人 標茶町16人 鶴居村9人)

平成24年中

救急出動件数	993件 (弟子屈町503件 標茶町363件 鶴居村127件)	Drヘリ出動	48件 (弟子屈町23件 標茶町15件 鶴居村10件)
搬送人員	946人 (弟子屈町471人 標茶町359人 鶴居村116人)	Drヘリ搬送	46人 (弟子屈町22人 標茶町14人 鶴居村10人)

救急車配置先

- 弟子屈消防署
- 川湯支署
- 標茶消防署
- 鶴居消防署



平成25年中における救急出場件数は981件で前年に比較すると12件の減少となり、搬送人員は948名で前年より2名増となっています。このことは、弟子屈町・標茶町・鶴居村管内で1日当たり約3件の救急事故が発生し、町村民約20人に1人が救急隊によって搬送されていることとなります。また、搬送人員を事故種別で見ると、急病482人、転院搬送258人、一般負傷123人で、この3種別が上位を占めており、その他(火災・労働災害・運動競技・交通事故・自損行為・加害・その他)85人となっています。また道東ドクターヘリの運航状況については平成25年中の総出動件数は345件、当組合管内では出動53件、ドクターヘリ搬送48人となっています。

## 標茶消防団 第5分団 設立50周年

標茶消防団第5分団(虹別)が設立50周年を迎え、10月12日(土)に標茶消防団・暑秋季演習と併せて記念式典が挙行政され、150名の関係者が出席し節目の年を祝いました。



熊牛まとい組によるまとい振り



表彰を受ける団員夫人

第5分団は昭和38年に標茶消防団第1分団虹別班として設立し、幾多の変遷をたどり今日まで、愛郷心と使命感で地域住民の生命財産を守ってきました。会場では歴代の団員夫人と特別功労者が表彰され、祝賀会では熊牛まとい組による、はしご乗りとまとい振りを披露し式典に花を添えました。

## 釧路管内女性消防団員研修会

釧路管内の女性消防団員を対象とした研修会が5月26日(日)、釧路市消防本部で開催され礼式や部隊行進などの規律訓練を行いました。

訓練後には東京都の赤羽消防団副団長の小澤浩子氏による「女性消防団員の活動と課題」と題した講演が行われ、女性消防団員ならではの活動について熱心に聴講し、今後の女性消防団活動に対する意識向上を図りました。



礼式訓練の様子

## 緊急消防援助隊東北ブロック合同訓練参加

10月11日(金)12日(土)、苫小牧市において緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が行われました。想定は苫小牧を震源とするM9.0及び太平洋沖を震源とするM8.9の地震が相次いで発生し、消防、自衛隊、海上保安庁、警察、開発局などの防災関係機関や医療機関、DMATとも連携した大規模な訓練が行われました。釧路北部消防事務組合からは標茶消防署の署員5名と消防車1台が消火隊として訓練に参加し、大災害時における各関係機関との連携強化を図りました。



救急隊及び警察隊による車両救出の様子



消火隊一斉放水の様子

# 消防予算の執行状況

## 平成24年度 決算の概要

**歳入 821,898,621円**

**歳出 814,957,679円**



平成24年度釧路北部消防事務組合の歳入歳出決算額は上記のとおりであり、主な内容は次のとおりです。

**歳入** 歳入予算額843,185,000円に対して決算額は821,898,621円となっており、歳入の主たる財源は、構成町村からの負担金798,118,000円で全体の97.1%を占め、他は国庫支出金・道支出金・手数料・諸収入・繰越金・財産収入等で23,780,621円、2.9%となっています。

**歳出** 歳出予算額は歳入予算額と同額であり、決算額は814,957,679円で96.7%の執行率となっています。主な内容は消防署、消防団、消防施設、設備等に要した経費が726,466,195円で全体の89.1%を占め、他は地方債償還元利金（公債費）1,623,390円で0.2%、さらに消防本部の運営に要した経費等が86,868,094円で10.7%となっており、歳入歳出差引不用額6,940,942円は平成25年度予算へ繰越されました。なお、鶴居消防署管内の耐震性貯水槽建設工事費、20,265,000円は翌年度に繰越されました。

各項目及び構成町村別の決算内容は次の表のとおりです。

### 平成24年度 歳入決算費目別内訳

(単位：千円・%)

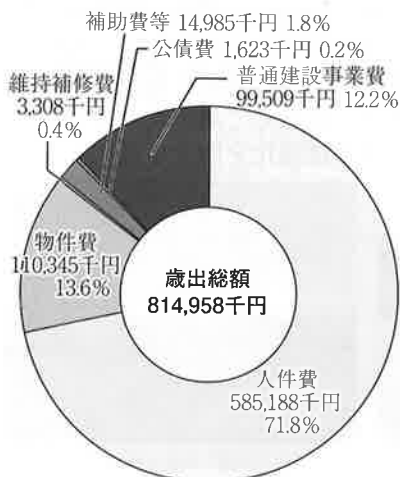
費目	区分	予算額	決算額	収入率
分担金及び負担金		810,449	798,118	98.5
内訳	弟子屈町	360,298	360,298	100.0
	標茶町	286,350	286,350	100.0
	鶴居村	163,801	151,470	92.5
使用料及び手数料		192	194	101.0
道支出金		1,868	1,868	100.0
財産収入		2,544	2,544	100.0
繰越金		7,960	7,960	100.0
諸収入		4,304	3,281	76.2
国庫支出金		15,868	7,934	50.0
計		843,185	821,899	97.5

### 平成24年度 歳出決算費目別内訳

(単位：千円・%)

費目	区分	予算額	決算額	執行率
議会費		564	554	98.2
総務管理費		86,460	85,660	99.1
監査委員費		655	654	99.8
消防署費		593,408	588,261	99.1
消防団費		55,174	53,365	96.7
消防施設費		105,150	84,841	80.7
公債費		1,624	1,623	99.9
予備費		150	0	0.0
計		843,185	814,958	96.7

### 平成24年度 性質別経費決算内訳



### 平成24年度の主な事業

(単位：千円)

事業名	事業費	施設・設備・配置場所
組合内デジタル無線整備基本設計及び電波伝搬調査	17,325	釧路北部消防事務組合管内 アナログ方式の消防無線からデジタル方式の消防無線に移行するための基本設計及び電波伝搬調査委託
小型動力ポンプ付水槽車購入	50,505	弟子屈消防署 総重量22トン、フルオートマチック、ディーゼルエンジン、ABS、出力380ps、水槽容量10,000リットル、小型動力ポンプ B-2級、直列3気筒、出力30ps
耐震性貯水槽建設事業	26,061	①標茶町開運8丁目②標茶町旭2丁目 60m型耐震性、FRP二次製品
消防用ホース一式購入事業 (石油貯蔵施設立地対策交付金事業)	2,499	鶴居消防署 65mm 差込式消防ホース60本 無反動管鉗、定流量噴霧ノズル
第4分団詰所外部補修工事	2,016	鶴居村下久著呂 詰所外部補修工事 (壁、屋根)
消火栓取替工事	1,103	鶴居村鶴居東6丁目 地上単口式消火栓1基
計	99,509	

# 26年度の当初予算 7億5,482万3千円

## 地域防災の確立を目指して

多発する火災・災害から住民の生命・身体及び財産を守り、地域防災確立を目指す平成26年度消防予算が2月24日開催の組合議会で議決されました。

予算の総額は歳入歳出それぞれ754,823,000円で前年度当初予算と比較すると44,971,000円の減(△5.6%)となり、内訳は義務的経費(人件費・公債費)で67,467,000円の減、投資的経費(普通建設事業費)で9,831,000円の増と総体的に減額予算となっています。

減額の大きな科目は定年退職者による人件費や、償還終了による公債費などにより減となっています。予算内容は下記のとおりです。

### 平成26年度歳入予算

(単位：千円・%)

区分 科目	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	増減額	増減率	構成比
分担金及び負担金	739,459	788,411	△48,952	△ 6.2	98.0
使用料及び手数料	213	213	0	0.0	0.0
国庫支出金	8,160	4,783	3,377	70.6	1.1
道支出金	1,868	1,868	0	0.0	0.2
財産収入	2,666	2,477	189	7.6	0.4
繰越金	300	300	0	0.0	0.0
諸収入	2,157	1,742	415	23.8	0.3
歳入合計	754,823	799,794	△44,971	△ 5.6	100.0

### 平成26年度歳出予算

(単位：千円・%)

区分 科目	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	増減額	増減率	構成比
議会費	2,088	588	1,500	255.1	0.3
総務費	68,006	88,360	△20,354	△ 23.0	9.0
消防費	684,429	708,941	△24,512	△ 3.5	90.7
予備費	300	300	0	0.0	0.0
公債費	0	1,605	△ 1,605	△100.0	0.0
歳出合計	754,823	799,794	△44,971	△ 5.6	100.0

### 平成26年度の主な事業

- 消防議会議員行政視察研修
- 耐震性貯水槽建設事業 2箇所(弟子屈消防署)
- 川湯消防庁舎陸屋根防水工事(川湯支署)
- 消防用ホース購入事業(鶴居消防署)
- 下幌呂消防部詰所実施設計委託料(鶴居消防署)
- 第2分団詰所前庭補修工事(鶴居消防署)

## 平成25年 弟子屈町・標茶町・鶴居村の火災概要

# 前年比、建物火災2倍、車両火災4倍に!



### ▶平成25年中の火災発生状況と前年の対比表

平成25年中の弟子屈町・標茶町・鶴居村管内における火災件数は18件で、前年に比べ11件の増加となっております。昨年より出火件数及び損害額が大幅に増加しており、特に車両火災の件数が前年の4倍に増加しています。火災を早期に発見し避難するために、住宅用火災警報器を設置し大切な生命・財産を守りましょう。まだ設置をしていないご家庭では早急に設置をお願いいたします。

年別(平成)	区分	総出火 件数 (件)	建物火災 件数 (件)	車両火災 件数 (件)	その他の 件数 (件)	焼 損 面 積 等			死 傷 者 数 (人)		り 災 世 帯 数 (世帯)	損害額 (千円)
						建 物 (㎡)	車 両 (台)	その他	死者	負傷者		
25 年 中	弟子屈町	7	3	4	0	270.0	4	0	0	1	2	12,342
	標茶町	9	4	3	2	299.0	3	1台	0	1	2	7,927
	鶴居村	2	1	1	0	68.0	1	0	0	0	0	3,376
	計	18	8	8	2	637.0	8	1台	0	2	4	23,645
24 年 中	弟子屈町	3	2	1	0	66.0	1	0	0	1	2	2,755
	標茶町	3	2	0	1	407.0	1	0	0	0	0	11,212
	鶴居村	1	0	1	0	0.0	1	0	0	0	0	350
	計	7	4	2	1	473.0	3		0	1	2	14,317

### 標茶町・弟子屈町 女性防火クラブ員の防火活動

標茶・弟子屈防火クラブでは視察研修、防火訪問、街頭広報、炊き出し訓練、救急講習、消火器具の取扱いなど毎年継続して活動を行うことにより、クラブ員の火災予防の知識習得や、防火の普及啓発活動に毎年大きく貢献しています。



ひまわり保育園防火訪問



街頭広報活動の様子



炊き出し訓練の様子

### 標茶町 磯分内少年消防クラブ視察研修

平成25年度は視察研修・消防車両での火災予防広報・歳末火の用心の巡回と地域の防火活動に一生懸命取り組みました。視察研修では釧路空港事務所管制塔・空港消防隊を見学することができ、クラブ員一同とても貴重な体験をしました。



釧路空港事務所管制塔

### 標茶町 第23回防火祭

7月28日(日)「標茶町子どもの夢を育てるまつり」に併せ第23回防火祭を開催しました。ダンボール迷路やミニ消防車コーナー、防火イラスト風船の配布を行い防火を呼びかけました。また、新たに的を使った消火器での消火体験や川湯支署の協力ではしご車の乗車体験を行い、大勢の子供たちが集まり賑わいました。



消火体験



はしご車の乗車体験

### 鶴居村 第1回消防キッズフェア

4月28日(日)、鶴居消防署では平成25年度に初の試みとして「第1回消防キッズフェア」を開催しました。住民の皆さまから寄贈されたこいのぼりに防火の願いを込めて子どもたちと一緒に掲げたほか、消防クイズや大声コンテスト、煙体験ハウスや縁日コーナーなど、子どもたちに楽しく消防や防火について学んでもらう事ができました。また標茶消防署や川湯支署の協力のもと、ミニ消防車やはしご車の乗車体験コーナーも開設し、普段は見ることのできない消防車両に子どもたちは大いに賑わいました。



こいのぼり  
子どもが掲げた

### 弟子屈町 第21回弟子屈防火フェスティバル

10月26日(土)、「第21回弟子屈防火フェスティバル」を弟子屈消防庁舎前で開催しました。摩周丘幼稚園幼年消防クラブ



来場者による「119」の人文字撮影

による「よっちょれ演舞」で開幕。消防戦隊タスケルンジャーショーでは子どもたちから大きな声援が寄せられ、梯子車からの駄菓子まきや恒例のお楽しみ抽選会では会場に歓声が響きわたり多くの親子連れで賑わいました。又、消火器放水体験コーナーや消防資器材展示コーナー等を通して、火災予防の防災意識の高揚と消防の仕事への理解を深め、防火や人命救助の大切さを伝えました。



幼稚園児による「よっちょれ演舞」

### 道東地区消防職員意見発表会

1月17日(金)、釧路市において第38回道東地区消防職員意見発表会が開催され、釧路管内の消防職員を代表して標茶消防署から齊藤一也消防士が出席しました。齊藤消防士は「不安全行動の改善」と題し、災害現場に存在する危険要素（ヒヤリハット）を自ら体験し、過去のデータや事例からヒヤリハットに対する改善策を提案し、危険の軽減を図ることを発表しました。全道大会進出にはなりませんでしたが、この発表が今後、災害現場でのヒヤリハット軽減に生かされていくことを期待します。



発表する齊藤消防士

### 弟子屈、川湯防火管理協議会の事業

弟子屈防火管理協議会では消火器購入助成事業を実施しました。

この事業は、製造から10年以上経過したものや、錆び等の傷みが激しい消火器による破裂事故が全国各地で頻発していることから、事故を未然に防止するため買い替え、設置を勧めようと実施しました。

筒井会長は「安全な装備で防火に備えて欲しい」と活用を呼びかけました。



川湯防火管理協議会では、春の火災予防運動の一環として川湯保育園に防火の絵本を、小学校1年生には「消火器型の鉛筆削り」と「消火器型の消しゴム」のセットを贈りました。小泉会長から喜んで受け取った子供たちは、「火遊びは絶対しません」と防火の決意を約束しました。



小泉会長から「消火器型鉛筆削りと消しゴム」のセットを贈られる一年生

### 女性消防団員の活動

標茶消防団では、女性消防団員による1人暮らしの単身高齢者世帯を対象とした防火訪問を実施しました。暖房機器やガスコンロなどの点検の他、火災が起きた時の対処法について対話を交えて指導しました。また、訪問の際には手作りの防火グッズをプレゼントしました。女性ならではの発想を活かした活動は防火に大きく貢献しています。



単身高齢者宅を訪問する女性消防団員

### 防火スポーツ大会開催

川湯、鶴居の各地区にて、防火意識の高揚、健康促進、地域住民の親睦を深める事を目的とした防火スポーツ大会を開催しました。川湯ではパークゴルフ大会、鶴居ではゲートボール大会が開催され、競技と併せて消火訓練、住宅用火災警報器の使用方法などの説明が行われました。途中さまざまな質問も受け、地域住民の防火意識の高まりを感じることができました。



鶴居 ゲートボール大会



川湯 パークゴルフ大会

### 消防車の写生画を利用した防火看板の作製



新しい防火看板

弟子屈消防署では高栄2丁目に設置していた防火広報看板が年数経過による老朽化の為、新たに防火看板を作製しました。防火広報看板には弟子屈小学校第2学年の消防車の写生画を使用しています。写生画からは力強さが感じられ、町民の防火意識の向上に役立っています。

### あなたもチャレンジ!

### 「危険物取扱者試験」平成26年度日程

「防火管理講習会」は、10月1日～3日、釧路町公民館（釧路町河畔7-52-1）で開催予定です。詳しくは、最寄りの消防署でお問合わせ下さい。

試験日	願書受付期間	試験地（近隣のみ掲載）
第1回 6月1日	4月17日～24日	釧路市・北見市・網走市
第2回 8月31日	7月22日～29日	釧路市・北見市
第3回 11月16日	10月6日～14日	釧路市・北見市・網走市 中標津町
第4回 2月1日	12月12日～19日	釧路市・北見市

# 消防人に栄えある受章

## 平成25年度 定例表彰

平成25年度の消防定例表彰が各関係機関から授与されました。この受章は永年、消防・防災活動に従事され、地域防災の発展と住民の生命・身体・財産の保全に尽くされた功績が高く評価されたものであります。今後、さらに消防職団員が地域の方と連携し防災活動に尽力されますよう期待します。

受章者は次のとおりです。

(勤続章は20年以上、順不同、敬称略)

### ◎消防協会釧路地方支部長表彰

勤続章35年〈6名〉

弟子屈消防団	部長	益子 孝秀
標茶消防団	団長	田中 純一
標茶消防団	分団長	高平 敏夫
標茶消防団	部長	遠藤 好幸
鶴居消防団	副団長	小野寺正幸
鶴居消防団	団員	高橋 直孝

勤続章25年〈4名〉

標茶消防団	分団長	畠山 雅之
標茶消防団	副分団長	渋谷弘一郎
標茶消防団	部長	山林 幹雄
標茶消防団	部長	小野寺一史

### ◎釧路北部消防事務組合長表彰

勤続章50年〈1名〉

弟子屈消防団	副分団長	村田 隆
--------	------	------

勤続章40年〈3名〉

川湯消防団	団長	濱岡 正次
標茶消防団	部長	湯田 篤雄
鶴居消防団	分団長	鈴木 重行

勤続章30年〈4名〉

標茶消防団	副団長	蛭名 嘉章
標茶消防団	副分団長	藤原 利洋
標茶消防団	部長	森田 泰彦
鶴居消防団	部長	渋谷 忠裕

勤続章20年〈2名〉

標茶消防団	部長	鈴木 重充
鶴居消防団	団員	竹内 智春

### ◎北海道知事表彰

勤労章30年〈5名〉

弟子屈消防団	部長	金川 礼光
鶴居消防団	部長	今野 勇
鶴居消防団	部長	澁谷 忠裕
鶴居消防団	団員	及川 文雄
標茶消防署	消防司令	越善 忍

勤労章20年〈8名〉

弟子屈消防団	部長	星川 幸喜
標茶消防団	部長	佐藤 光子
標茶消防団	班長	村上 徳幸
標茶消防団	班長	佐々木真理
標茶消防団	班長	鴻池 智子
標茶消防団	班長	伊藤けさ江
標茶消防団	団員	小渡るみ子
鶴居消防団	団員	竹内 智春

### ◎日本消防協会会長表彰

50年永年勤続功労章〈1名〉

弟子屈消防団	副分団長	村田 隆
--------	------	------

勤続章30年〈8名〉

弟子屈消防団	部長	金川 礼光
弟子屈消防団	部長	中澤 高行
弟子屈消防団	団員	宮崎 昇
弟子屈消防団	団員	鴨志田光栄

標茶消防団	班長	齋藤 良樹
標茶消防団	班長	山本 政弘
鶴居消防団	部長	今野 勇
鶴居消防団	団員	及川 文雄

### ◎北海道消防協会会長表彰

特別功績章〈4名〉

川湯消防団	団長	濱岡 正次
標茶消防団	部長	湯田 篤雄
鶴居消防団	分団長	鈴木 重行
標茶消防署	消防司令	飯田 徹

功績章〈2名〉

川湯消防団	分団長	佐々木英勝
標茶消防団	副団長	三島木洋一

勤続章30年〈5名〉

標茶消防団	副団長	蛭名 嘉章
標茶消防団	副分団長	藤原 利洋
標茶消防団	部長	森田 泰彦
鶴居消防団	部長	渋谷 忠裕
標茶消防署	消防司令	越善 忍

勤続章20年〈3名〉

標茶消防団	部長	鈴木 重充
鶴居消防団	団員	竹内 智春
標茶消防署	消防司令補	加藤 悦久

## 平成25年度北海道消防表彰式 ～鶴居消防団に表彰旗授与～

11月21日(木)、札幌市にて北海道消防表彰式が行われ、鶴居消防団に表彰旗が授与されました。

この表彰は防火思想の普及や災害の防御など、消防について功労が顕著であると認められる個人及び団体に贈られるもので、鶴居消防団についても火災等の災害防御活動に加え、永年に亘る釧路管内消防団員技能競技大会での活躍や、住宅用火災警報器の普及促進への取り組みなどが評価されました。

この表彰旗の授与を機に、今まで以上に防災意識の高揚を図るとともに、より確実に職務を遂行していくために、消防団として更なる飛躍を誓いました。



表彰旗を受け取る  
櫻橋団長と成田分  
団長

## 人命救助に対し感謝状の贈呈

10月18日(金)標茶町在住の阪口康裕さん、平成26年1月7日(火)弟子屈町在住の石川裕さん、それぞれに感謝状を贈りました。

阪口さんは、標茶町で発生した住宅火災で、石川さんは弟子屈町で発生した住宅火災において、火災の発見、119番を行った後、被災者を屋外へ誘導し、安全な場所へ避難させました。

2名の迅速で的確な活動により、尊い人命が救われ、被害を最小限に留めたことに対し感謝状が贈られました。



感謝状を受け取った阪口康裕さん(写真中央)



感謝状を受け取った石川裕さん  
(写真右から2番目)